

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年12月28日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473100562		
法人名	医療法人社団 林医院		
事業所名	グループホーム蛍の家		
所在地	737-1377 呉市倉橋町石持154番地の1		
自己評価作成日	平成24年11月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=3473100562-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成24年12月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的で、落ち着いて静かな雰囲気の中で生活できること、地域との交流を目標として、職員一人一人が日々取り組んでいます。また、林医院との連携により、適切な医療が受けられるように努めています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<ul style="list-style-type: none">・利用者とは過ごす時間を大切にして、日常より個別にカンファレンスを実施し本人の思いを尊重した生活ができるように支援している。「蛍の家通信」の発行など、日常的な出来事を報告し家族から評価されている。・地域とのつながりを大事にし、秋祭りや地元消防局との消防訓練等に参加したり、地域の清掃活動に協力する努力を行っている。・協力医療機関や法人医師の往診、緊急時の24時間連絡体制など医師との連携ができており、利用者や家族にとって安心できる環境である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域の人々との交流を図り、地域住民と利用者がお互いに触れ合いができる生活環境の場にしていけるように、心掛けています。	事業所独自の理念「思いやりの介護」の意味を明確に説明すると共に理念を掲示し、日頃より職員間で理念の共有と実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の人々との交流を図り、地域の行事にも参加している。また、地域の住民にも積極的に挨拶をするように、心掛けています。	ホームの周辺に民家がないため、ホームの「蛍の家通信」を地域へ配り、閲覧して貰い積極的に地域の方々と関われる環境作りを目指している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議の参加者、近隣住民など地域の人々との交流をは図ることで、認知症の人々の理解、支援をいただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	自治会長、民生委員、老人クラブ会長、女性会長等に参加してもらい、どんなことが入居者に喜ばれるかなど、助言を聞き、実践に努めている。	利用者及び家族をはじめ、地域包括支援センター、行政担当者、民生委員、併設ホーム管理者が参加し2ヶ月に1回開催している。運営推進会議に、多数の家族の参加が得られるように、アンケートをとり、家族が出席し易い日取りを模索する等、様々な努力がなされている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	呉市福祉保健課、介護保険課、および介護相談員と話し合い、助言などをいただいている。	運営推進会議に参加して貰い、利用者の状況について、助言、相談や情報交換を行なっている。日頃より親密な協力関係を築くように取り組んでおり、何でも相談しやすい関係づくりができています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職場内で研修を行い、身体拘束の弊害を理解し、また、玄関の施錠も日中は行わず、利用者が心地よい雰囲気の中で過ごせるように取り組んでいる。</p>	<p>日中は施錠などせずに音が出る探知機で工夫をしたり、職員間の連携で安全で自由な生活が送れるように努めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職場内で研修を行い、虐待は人権侵害にあたることを理解し、虐待は刑事罰にあたることを徹底し、虐待が起こらないように取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修会に参加し、権利擁護に関する制度の理解に努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>計約にあたっては、利用者、ご家族に対し十分な説明を行い、疑問、不安が無くなるように、誠実に対応している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議、利用者、ご家族からの要望意見、苦情等に耳を傾け、利用者中心、ご家族ら中心の施設となるように、取り組んでいる。</p>	<p>家族会がないため家族の意見、要望等は個々の面会時、電話などで聞いている。利用者、家族の声を職員間で話し合い解決し、実施につなげるよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員からの申し出、管理者からの申し出により、随時、運営に関する意見、助言を聞くように検討会を介在するように努め、共同生活の向上に努めている。</p>	<p>申し送りやミーティングで、職員の意見や提案を聞く機会を持ち、月1回の法人代表と各ホーム管理者との会議で報告し情報の共有を行っている。職員が提案した行事等が実現されている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、随時施設を訪問しており、職員の意見等を聞き、職場環境の改善に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修には、勤務扱いで行けるようにしている。研修費、交通費も支給されている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>他の事業所との交流を促しており、自己研修という形で、サービスの向上に努めている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人、ご家族とよく話し合い、不安等がないように、信頼関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>本人、ご家族とよく話し合い、不安等がないように、信頼関係を築いている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、ご家族とよく話し合い、様々な提案をさせてもらい、本人、ご家族にとってより良いサービスの利用に努めている。グループホームでは困難と判断した場合は、良く話し合っ法人内の介護老人保健施設などを紹介している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>コミュニケーションを大切にし、利用者の気持ちを理解するように努めることで、家庭生活に近い生活環境の場を築くことができるように努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>コミュニケーションを大切にし、利用者の気持ちを理解するように努めることで、家庭生活に近い生活環境の場を築くことができるように努めている。そして、ご家族に安心していただけるように努めている。ご家族の面会時は、現在の状況などを説明し、いい人間関係が保たれるように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人、ご家族から過去の生活歴を聞き、利用者の生活が、入居することで途切れないように努めている。また、ご家族との面会や、外出などができるように努めている。</p>	<p>1ヶ月に1回、家族のもとへの送迎支援や、いままで通っていた習字の先生を、ホームに招き、他の利用者も交え馴染みの場や人づくりができています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事、おやつ、音楽療法、レクリエーション、行事などを通じて、利用者とのコミュニケーションを図り、フロアに出て、利用者同士が関わりが持てるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了しても、利用者、ご家族とのコミュニケーションを大切に、相談、支援等に努めている。入院された場合など、面会に行き、これまでの関係を大切にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを大切に、利用者の気持ちを理解し、家庭的な雰囲気の中での生活環境に近づくように努力している。感情表出ができるように、コミュニケーションを図っている。	日頃の利用者との関わりの中での気づきを申し送り、ケア記録により職員間で伝達、報告をして、理念である「思いやりの介護」を行っている。又、意思疎通が難しい方には、音楽をかけリラックスできる環境をつくり普段と違う表情や言動を見落とさないように実践している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人及び、ご家族から、これまでの生活歴の把握に努めると同時に、日常生活における会話の中から、利用者に喜ばれる暮らし方の実現に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の観察、コミュニケーションを通じてまた、職員間で話し合い、利用者の暮らし方の現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、ご家族、職員が話し合いをして、意見アディアを取り入れている。それを現状に即した介護へと結びつけている。</p>	<p>ホームにケアマネージャーがいない為、併設の小規模多機能型居宅介護のケアマネージャーが計画作成を職員と話し合い行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>申し送りノートに記録し、情報の共有に努めている。また、職員の申し出により、カンファレンス等を開催している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人、ご家族とのコミュニケーションを大切に、柔軟な支援ができるように努力している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>社会福祉協議会等と連携し、かけはし利用等を支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>法人内の林医院からの訪問診療の他に、必要な時に、適切な医療が受けられるように支援している。また、健康に支障が見られた場合は、ご家族に報告している。</p>	<p>利用者、家族が希望するかかりつけ医の通院支援を1ヶ月1回行っている。法人医師とは24時間ホーム看護師との連絡体制を取っている。又、週2回（月、木）に協力医師と法人医師の往診があり健康管理が行われている。ホームに常駐の看護師はいないが併設の看護師により利用者の状況等を把握され医療機関との連携を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>医師、看護師と随時連絡を取り合っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した場合、職員が面会に行き安心して療養出来るように支援している。また、退院、再入居に備えて、病院関係者との情報交換に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人、ご家族、医師とで、十分な話し合いをしている。また、職員全体で方針を共有した介護の実践に努めている。</p>	<p>入居時に利用者、家族にホームの方針を説明し、利用者の身体状況に応じて医師の指示を基に方向性を利用者、家族と話し合いホームで行える最大限の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職場内で、誤嚥、転倒等の急変に即した勉強会をしている。林医院からの訪問診療、訪問看護時に、医師、看護師からの適切な助言、指導を受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>法人内で話し合いをしたり、職場内で研修をしている。また、地域の自治会、消防団とも日頃から挨拶等をして、いつでも協力していただけるように心掛けている。運営推進会議を通じて、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回、定期的な消防署の指導訓練を開催。自動通報装置、スプリンクラーを設置されている。</p>	<p>避難誘導は、併設の小規模多機能型居宅介護ホームと協力し、あらゆる想定の実地訓練を両ホームで合同実施して、夜間災害は地域の住民の協力が貰えるように、避難後の見守りなど、具体的に伝え協力体制を築くことを望みます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者の人格を尊重した声掛け、態度等が出来るように日頃から、話し合いをしている利用者の尊厳を尊重した介護を心掛けている。個人情報も、外部に漏れないように全職員が徹底して管理をしている。	日々の生活の中で、利用者の尊厳と権利を大切に声かけや、言葉遣いを心掛けている。又管理者は日頃より声かけや気づきに関して、現場で指導に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者が、自分の希望や思いを言える雰囲気作りに努めている。意志表示が困難な場合は、表情等から感情を理解し、支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一週間の予定、一日の日課等は決めているが、利用者の希望に沿った支援をしている。一人一人の生活のリズムに配慮し、ゆったりとした環境で生活できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者の一人一人に応じた身だしなみ、おしゃれができるように努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事については、利用者の好みを伺い、行事食等を作っている。また、利用者の能力に応じて、食事の準備、片付け等をしていただいている。	盛り付けや陶器を使用するなど、目で味わう工夫を考えている。職員も利用者と一緒にテーブルで食事をしている。又、誕生日会には手作りケーキで祝うなど、家庭的な雰囲気を楽しみ、味わいを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>管理栄養士による，献立により食事を作っている。水分も利用者の状態に応じて摂取できるように努めている。食事の摂取量を把握し，食事形態にも配慮している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後，歯磨きや義歯の洗浄を行っている。自分でできる利用者の場合，声かけや見守りを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>利用者の自立に向けた，排泄の支援を行っている。また，自尊心を傷つけないように配慮している。</p>	<p>利用者の生活のリズムや排泄パターンを把握し，トイレ誘導もプライバシーに配慮した声かけを行い，積極的に排泄の自立支援に取り組んでいる。又その結果，オムツからリハビリパンツに変更になった利用者もおられる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>果物，水分補給のほか，適度な運動に向けての支援をしている。食事やおやつは，食堂に出てもらい，ダイニングでのレクリエーション等，身体を動かすこと等，積極的に行っている。また，毎日，排便チェックを行い，必要な時に緩下剤で，排便をコントロールしている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴は，一週間の予定を決めてはいるが，本人の体調や希望を考慮した入浴の支援を行っている。また，入浴を楽しんでいただけるように心掛けている。</p>	<p>体調や希望により一人一人がゆっくり入浴ができる対応をしている。夫婦二人で入る時は見守りを行い二人で穏やかに入る環境を大事にしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	本人の気持ちを大切に、自由に過ごしていただいている。また、安らぎのある雰囲気作りに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	林医院から看護職員より、処方される薬についての説明を受けている。また、職員が内服の確認をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	喜びのある一日が過ごせるように、音楽療法やレクリエーションを行っている。また一人一人の能力に応じて、食事の配膳や下膳等の役割を担っていただいている。レクリエーションへの参加は促しているが、無理には促さないようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には、利用者と共に施設の周辺を散歩している。また、ご家族と共に外出をしていただけるように支援をしている。	周辺の散歩に加えて地域へミニドライブに出かけたり、日常的に戸外へ出かける取り組みを行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族と話し合い、本人が小遣いを持てるようにしている。ただし、利用者の認知の状況も考慮し、困難であれば事務所で管理している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	手紙や電話など、通信が自由にできるように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ダイルーム等の共有な空間は、利用者が気持ち良く過ごせるように清潔にし、日光、照明により、適切な光を取り入れている。また、季節感のあるものを飾って、落ち着いたように配慮している。	天井が高く採光には、眩しくならないような電球を使用し工夫している。空調設備も職員により調整されている。台所はオープンで食事の準備や料理の匂いなどで五感を刺激してくれる。	テーブルの高さと椅子の座面が利用者の方に合わない方が見受けられ、食事の際に誤嚥に繋がるので、検討・改善される事を期待したい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	好きな場所で自由に過ごせるようにしている。また、家庭的でくつろいで過ごせる空間となるように努めている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人、ご家族と話し合って自宅で使用していたものを、自由に持ち込めるように支援している。また、利用者が大切にしていた物に囲まれ、その人らしく、居心地の良い居室を作れるように、努めている。	各部屋にスプリングクーラー、エアコン、特殊寝台を設置している。馴染みの物を持ち込んでそれぞれ好みにあった居室作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	利用者が安全で自立した生活ができるように、環境を整えている。また、本人の安全を考慮し、手を持って歩行する等している。利用者の状況が変化したとき等、職員の間で話し合い、対策をとる等の工夫をしている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム蛍の家

作成日 平成25年2月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	災害時の地域との協力体制を築く	地域の皆さんに協力して貰えるようにする。	運営推進会議を通じての話し合いをする。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。